令和７(2025) 年度

第　１　学　年

年間学習指導計画書

滋賀県立大津商業高等学校

本書の使い方について

年間学習指導計画書とは

本計画書は、「授業で学習することがら」、「年間の授業の流れ」、「学習の観点」、「考査計画」や「評価方法」などを記載したものです。生徒の皆さんに、１年間の授業内容を見通して、各科目の学習計画を把握してもらうために作成しました。見慣れないもので理解しにくいかもしれませんが、しっかり読んで下さい。

「何を目的として授業をしているのか」、「何をもって評価するのか」、「皆さんに何を期待しているのか」といった内容が書かれています。

本書によって皆さんが事前に学習計画を作り、学校での授業や家庭での学習が少しでも充実したものになってほしいと考えています。

本書の見方

<table>
<tr><td rowspan="2">学年</td><td rowspan="2"></td><td colspan="5">単位数</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報システム科</td><td colspan="3">総合ビジネス科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">科目名</td><td rowspan="2">※1</td><td>開発</td><td>利用</td><td colspan="2">※2</td><td>Ⅰ類</td><td>Ⅱ類</td><td>Ⅲ類</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">※3</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>学習の目標</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td colspan="8">教科書：
副教材：</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評価</td><td>評価法</td><td colspan="7">※4</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価観点の趣旨</td><td>①</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>②</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>③</td><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="8">上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">期</td><td rowspan="2">月</td><td rowspan="2">学習項目・単元</td><td rowspan="2">学習内容</td><td colspan="3">評価方法</td></tr>
<tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">※5</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※1　皆さんが受ける授業の科目名を明記しています。

※2　２年生・３年生では、総合ビジネス科、情報システム科の小学科の中でさらに類型やコースに分かれて授業が行われます。自分の類型やコースに注意して下さい。（詳しくは「教育課程表」や「目次」を見て下さい。）

※3　その科目の授業が週に何時間あるかを書いています。「2」とあれば週に2時間で、修得できる単位数が「2単位」ということです。

※4　授業での評価のしかたや観点が示されています。意欲的に学習する態度を養って下さい。

※5　一年間の授業の流れが示され、「何を身につけてほしいか」が示されています。計画的に学習し、必要な知識などを手に入れる力を養って下さい。また、評価についても書いてあります。考査の成績の他にも大切なことがあります。その科目を学習するにあたって、さまざまなアドバイスが書かれていることもありますので、しっかり読んで参考にして下さい。

大津商業高等学校　　教育課程

令和7年度入学生用

教科	科目	標準単位数	必履修科目	学校設定科目	学年・学科・類型等															合計				
					情報システム科						総合ビジネス科									情報システム科		総合ビジネス科		
					システム開発			システム利用			Ⅰ類(マーケティング)			Ⅱ類(アカウンティング)			Ⅲ類(グローバル)			システム開発	システム利用	Ⅰ類(マーケティング)	Ⅱ類(アカウンティング)	Ⅲ類(グローバル)
					1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年					
国語	現代の国語	2	●		2			2			2			2			2			2	2	2	2	2
	言語文化	2	●		2			2			2			2			2			2	2	2	2	2
	論理国語	4				2	2		2	2		2	2		2	2		2	2	4	4	4	4	4
	文学国語	4				2	2		2	2		2	2		2	2		2	2	4	4	4	4	4
地歴	地理総合	2	●				2			2			2			2			2	2	2	2	2	2
	歴史総合	2	●			2			2			2			2			2		2	2	2	2	2
公民	公共	2	●		2			2			2			2			2			2	2	2	2	2
数学	数学Ⅰ	3	●		3			3			3			3			3			3	3	3	3	3
	数学A	2				2			2			2			2			2		2	2	2	2	2
	数学Ⅱ	4					(3)			(3)										(3)	(3)			
理科	科学と人間生活	2	●		2			2			2			2			2			2	2	2	2	2
	生物基礎	2	●			2			2			2			2			2		2	2	2	2	2
	生物	4					(3)			(3)			(3)			(3)				(3)	(3)	(3)	(3)	
保体	体育	7～8	●		2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	2	3	7	7	7	7	7
	保健	2	●		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		2	2	2	2	2
芸術	音楽Ⅰ	2	○				(3)			(3)			(3)			(3)			(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
	美術Ⅰ	2	○				(3)			(3)			(3)			(3)			(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
	書道Ⅰ	2	○				(3)			(3)			(3)			(3)			(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	●		3			3			3			3			3			3	3	3	3	3
	英語コミュニケーションⅡ	4				3			3			3			3			5		3	3	3	3	5
	英語コミュニケーションⅢ	4					3			3			3			3			3	3	3	3	3	3
	論理・表現Ⅰ	2			2			2			2			2			2			2	2	2	2	2
	英語演習α	3～6		●			(3)			(3)			(3)			(3)				(3)	(3)	(3)	(3)	
	英語演習β	3～6		●															3					3
家庭	家庭基礎	2	●			2			2			2			2			2		2	2	2	2	2
商業	ビジネス基礎	2～4	●		3			3			3			3			3			3	3	3	3	3
	課題研究	2～4	●			1	3		1	3		1	3		1	3		1	3	4	4	4	4	4
	総合実践	2～4					4			4			4			4			4	4	4	4	4	4
	マーケティング	2～4										4										4		
	商品開発と流通	2～4											4									4		
	観光ビジネス	2～4											(3)									(3)		
	グローバル経済	2～4																	4					4
	簿記	2～5			3			3			4			4			4			3	3	4	4	4
	財務会計Ⅰ	2～4				3			3			4			4			4		3	3	4	4	4
	財務会計Ⅱ	2～4														4							4	
	原価計算	2～4								(3)			(3)		4			4			(3)	(3)	4	4
	管理会計	2～4														(3)							(3)	
	情報処理	2～5			4			4			3			3			3			4	4	3	3	3
	ソフトウェア活用	2～4					4		4			2			2					4	4	2	2	
	プログラミング	2～5				4				4										4	4			
	ネットワーク活用	2～4							3												3			
	ネットワーク管理	2～4				3														3				
各教科・科目　計					29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	87	87	87	87	87
ホームルーム活動(時間数/週)					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3
合計(時間数／週)					30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	90	90	90	90	90
合計(単位数／週)					29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	87	87	87	87	87
卒業に必要な履修単位数					87																			
卒業に必要な修得単位数					80																			

備考　●は、必履修科目　○は、各教科の中から1科目必履修。「総合的な探究の時間」は「課題研究」で代替。「情報Ⅰ」は「情報処理」で代替。

※3年生芸術Ⅰは音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰの中から一つ選択。

※3年生は芸術を除く、(3)から1科目を選択。

もくじ

教科	科目	単位数	ページ	学科	
				情報システム科	総合ビジネス科
国語	現代の国語	2	3～5	○	○
	言語文化	2	6～7	○	○
公民	公共	2	8～9	○	○
数学	数学Ⅰ	3	10～11	○	○
理科	科学と人間生活	2	12～13	○	○
保体	体育	2	14～16	○	○
	保健	1	17～18	○	○
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	19～21	○	○
	論理・表現Ⅰ	2	22～25	○	○
商業	ビジネス基礎	3	26～27	○	○
	簿記（情報システム科）	3	28～31	○	
	簿記（総合ビジネス科）	4	32～35		○
	情報処理(情報システム科)	4	36～38	○	
	情報処理(総合ビジネス科)	3	39～40		○

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	現代の国語	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		2	2	2	2	2

学習の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。 （1）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （2）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
使用教材	教科書：『精選現代の国語』（東京書籍） 副教材：『新総合図説国語』（東京書籍） 『重要漢字コレクション2800　改訂版』（啓隆社）			
評価	評価法	定期考査、課題テスト、小テスト、ノート、レポート・作文、グループ討議・発表、振り返りシート等により、総合的に評価する。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技能	漢字や語句、表現など生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
		②	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4 5	「届く言葉」　【自己と他者】 （読むこと）	相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、対比的に書かれた批評を読み取る。 ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解する。[知識･技能] ・内容や構成，論理の展開等について叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握する。[思考･判断･表現]	小テスト	発表 ノート	振り返りシート 発表 ノート
		「分かりやすい説明をする」 【自己と他者】 （話すこと・聞くこと）	「分かりやすい説明」とはどのようなものかを理解し、目的や相手に合った説明をする。 ・正確さ，分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。[知識･技能] ・自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫する。[思考･判断･表現] ・分かりやすさや適切さに配慮した表現を積極的に考えるとともに，聞き手の反応に応じて話の構成や展開を工夫しながら発表する。[主体的に学習に取り組む態度]			
		手順を整理して正確に伝える 【自己と他者】（書くこと）	手順書の作り方を理解するとともに、情報をわかりやすく整理し、表現を検討して手順書を書く。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。[知識･技能] ・自分の考えや事柄を的確に伝えるため，根拠の示し方や説明の仕方を考え，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫する。[思考･判断･表現] ・グループ内で改善点を助言し合いながら、読み手を想定し、表現や情報の検討をした上で手順書を作成する。[主体的に学習に取り組む態度]			
		中間考査		定期考査	定期考査	定期考査

1学期	6 7	水の東西 【認識を深める】 （読むこと）	「水」をめぐる日本と西洋の文化の比較を通して、日本文化の特質について理解を深める。 ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解する。［知識･技能］ ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。［知識･技能］ ・内容や構成，論理の展開について叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握する。［思考･判断･表現］ ・日本文化について興味や関心を持ったことを適切にまとめ、スピーチする。［思考･判断･表現］ ・学習内容に基づく自分の興味や関心を積極的に他者に伝える。［主体的に学習に取り組む態度］	小テスト	発表 ノート	振り返りシート 発表 ノート
		発想を広げて課題を見つける 【認識を深める】 （話すこと・聞くこと）	発想を広げてアイディアを整理し、的確に伝える。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。［知識･技能］ ・目的や場に応じて，実社会の中から適切な話題を決め，様々な観点から情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討する。［思考･判断･表現］ ・題材を決め、グループで「ブレーンストーミング」と「グルーピング」に取り組み、結果を発表する。［思考･判断･表現］･［主体的に学習に取り組む態度］			
		新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる【認識を深める】 （書くこと）	読んだ文章から問いを作り、構成を工夫して意見をまとめる。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。［知識･技能］ ・引用･出典について、その示し方と必要性を理解するとともに、自身の文章において適切に表記する。［知識･技能］ ・目的や意図に応じて，新聞記事から適切な題材を選び，集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して，伝えたいことを明確にする。［思考･判断･表現］ ・論理の展開，情報の分量や重要度などを考え，文章の構成や展開を工夫しながら意見をまとめ、グループ内で話し合う。［思考･判断･表現］･［主体的に学習に取り組む態度］			
		期末考査		定期考査	定期考査	定期考査
2学期	8 9	言葉は世界を切り分ける 【言葉と社会】 （読むこと）	多言語と比較することで言葉の意味のあり方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。 ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解する。［知識･技能］ ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。［知識･技能］ ・内容や構成，論理の展開について叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握する。［思考･判断･表現］ ・言葉の働きについて、筆者の主張を踏まえて、考えたことをまとめる。［主体的に学習に取り組む態度］	小テスト	ノート	振り返りシート グループ討議
		コミュニティのこれから 【言葉と社会】 （話すこと・聞くこと）	「まちの豊かさとは何か」を読み、「コミュニティ」についての理解を深めるとともに、「まちの豊かさ」について自分の意見を持ち、他者に伝える。 ・経験を通して，筆者の考え方がどう変化したかを読み取り，理解する。［知識･技能］ ・「思考への扉２――コミュニティのこれから」を読み、「コミュニティ」についての理解を深める。［思考･判断･表現］ ・個々人や社会にとって「豊かさとは何か」について自分の考えをまとめ、グループで討論する。［主体的に学習に取り組む態度］			
	10	時間と自由の関係について 【言葉と社会】（読むこと）	時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り、哲学的なものの見方を理解し、自身の考えを深める。 ・文章構成や語の対応関係に留意し、二種類の「時間の自由」と「二つの時間」について論じていることを理解する。［知識･技能］ ・現代人の時間のあり方についての筆者の考えを適切に読み取り、要約する。［知識･技能］［思考･判断･表現］ ・自由と時間についての筆者の主張に対する自分の考えをまとめ、「自由」についての考えを深め、作文する。［主体的に学習に取り組む態度］	小テスト	ノート	振り返りシート ノート グループ討議

2学期	10 11	本を紹介する【言葉と社会】 （話すこと･聞くこと） 調べた情報を説明資料にまとめる【言葉と社会】（書くこと）	話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。 ・正確さ，分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いを考慮しながら「お薦めの本リスト」を作る。[知識･技能] ・班として紹介する本を決める話し合いをする中で、相手の理解が得られるように表現を工夫しながら考えを述べる。[思考･判断･表現] ・積極的にお薦めの本を挙げ，学習課題に沿って紹介の準備をし，本を紹介する活動をする。[主体的に学習に取り組む態度] 情報の信頼性を吟味し、伝える相手や目的に応じてまとめる。グラフや写真の読み方を理解し、情報を適切に読み取れるようにする。 ・説明資料の作り方を理解するとともに、情報の収集・活用のためのグラフや写真の読み方を理解する。[知識･技能] ・どのような説明資料を作るかを決定し、調べるべき情報の項目を挙げ、分類・整理する。[思考･判断･表現] ・「発信者」「信頼性」「新しさ」「分かりやすさ」の観点から、収集した情報を吟味する。[思考･判断･表現] ・資料の読み手や目的に応じて、内容や全体の構成を考え説明資料にまとめる。[思考･判断･表現] ・グループで読み合い、資料の作成過程で生じた困難や浮かんだ疑問・気づき等を話し合う。[主体的に学習に取り組む態度]	小テスト	ノート	振り返りシート ノート グループ討議
		期末考査		定期考査	定期考査	定期考査
	12	真の自立とは【共に生きる】 （読むこと）	「自立」のあり方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・現代社会における「できる」「できない」の構造と、それが人生に及ぼす影響について理解する。[知識･技能] ・「自立」について、「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り、まとめる。[思考･判断･表現] ・現代における「老い」や「『大人』になること」について、筆者の言う「自立」という観点から考え、話し合う。[主体的に学習に取り組む態度]		ノート	グループ討議
3学期	1 2	異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く【共に生きる】 （書くこと）	読み比べて考えを明確にし、伝わりやすい構成で意見文を書く。引用の方法を学び、適切に引用できるようにする。 ・読み比べて自分の意見を書く方法を理解する。[知識･技能] ・文章の内容や自分で考えたことを簡潔にメモする方法を理解する。[知識･技能] ・決定したテーマに沿った本を複数冊読み、筆者の主張と論拠を的確に読み取る。[知識･技能] ・読み比べた文章の内容や自身の考えを記したメモを参考にして、意見をまとめる。[思考･判断･表現] ・意見文をグループに分かれて読み合う。[主体的に学習に取り組む態度]	小テスト	作文	振り返りシート 作文 グループ討議
	3	情報を整理しながら話し合う【共に生きる】（話すこと･聞くこと）	話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。 ・話し合いには目的に応じた複数の方法があることを理解する。[知識･技能] ・「活動のポイント」を参考にして「企画会議」の進め方を理解する。[知識･技能] ・グループ内で論点を共有し，考えを広げたり深めたりしながら，話し合いの目的，種類，状況に応じて，表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。[思考･判断･表現] ・話し合いの結果をグループ毎に発表し，成果と課題を共有する。[主体的に学習に取り組む態度]	小テスト	ノート	振り返りシート グループ討議 ノート
		学年末考査		定期考査	定期考査	定期考査

担当者からのメッセージ（学習方法など）
本科目では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養っていきます。新しい教材に入る際には事前に語句の意味を調べるなどし、文章理解に向けての準備をしましょう。日々の授業においては、学習活動に積極的に取り組み、みずから考え、話したり書いたりするよう努めましょう。教科書教材と並行して、言葉の知識を身につけるために小テストを実施しますので、計画的に学習を進めましょう。また、評論読解のための問題集にも取り組みましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	言語文化	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		2	2	2	2	2

学習の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。 （1）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （2）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
使用教材	教科書：『精選言語文化』（東京書籍） 副教材：『新総合図説国語』（東京書籍）			
評価	評価法	定期考査、課題テスト、ノート、課題プリント、レポート・作文、グループ討議・発表等により、総合的に評価する。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技能	・我が国の言語文化に特徴的な漢字や語句、修辞に関する知識量を豊かにし、自らの表現の中で適切に用いることができている。
		②	思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」を駆使して、各種散文・韻文の文脈や構成・展開を正確に把握している。 ・的確な解釈のもとに構築した自らの考えや意見を、正しく伝わるように表現している。
		③	主体的に学習に取り組む態度	・積極的に筆者の考えやものの見方を読み取り、理解しようとしている。 ・主体的な読解のもとに生み出された自らの意見や考え方を、積極的に表現しようとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4 5	「羅生門」 （芥川 龍之介） 【小説を通じて自らを振り返る】 （読むこと）	・文章構成や表現技法を理解し、小説の読解方法の基礎を学ぶ。 ・極限状況にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して正確に読み取り、主題について考える。 ・小説に描かれた世界を読み取り、自ら感じたこと、考えたことを表現する。 ・作者の生涯や作品についてまとめるとともに、本文中で用いられている漢字や語句を調べることで、語彙力・知識を豊かにする。	発表 ノート 課題プリント 中間考査	発表 ノート 課題プリント 中間考査	発表 ノート 課題プリント 中間考査
	6	「児のそら寝」 （『宇治拾遺物語』） 【古文に親しむ】 （読むこと）	・音読や内容の理解を通して、古文特有の言語表現に慣れ親しむ。 ・仮名遣いや文法の違いなど、古文理解に必要な基礎知識を学ぶ。 ・本文の特徴や内容について感じたことを、自らの言葉で表現する。	発表 ノート 課題プリント 期末考査	発表 ノート 課題プリント 期末考査	発表 ノート 課題プリント 期末考査
	7	「絵仏師良秀」 （『宇治拾遺物語』） 「大江山の歌」 （『十訓抄』） 【説話に親しむ】 （読むこと）	・音読を繰り返し、説話の魅力を味わう。 ・文脈に沿って登場人物の心理を的確にとらえ、人物像を把握する。 ・動詞の活用、係り結びなど、古典文法の基礎を理解するとともに、現代日本語との相違点を踏まえた現代語訳の方法を理解する。			

2学期	9	「芥川」「東下り」 「筒井筒」「梓弓」(『伊勢物語』) 【歌物語を通して日本文化を考える】 （読むこと）	・古語の意味、基本的な古典文法、古文における表現の特徴に留意して現代語訳に改める。 ・歌物語の読解を通して、当時の人々の生活や感性に親しむ。 ・歌物語の特徴や和歌の修辞を理解する。 ・形容詞、形容動詞の活用や特徴を理解し、動詞の理解を深める。	発表 ノート 課題 中間考査	発表 ノート 課題 中間考査	発表 ノート 課題 中間考査
	10	「訓読の基本」 「故事成語」 「矛盾」「助長」 「推敲」 【漢文の世界に親しむ】 （読むこと）	・漢文の基本構造を知り、書き下し文・訓読・再読文字について理解する。 ・訓点を施された漢文を書き下し文に改め、さらに現代語訳に改める方法について理解する。 ・繰り返し音読することを通して、漢文特有の表現やリズムを味わうとともに、訓読の基礎を理解する。 ・故事成語の意味や成立の背景について自ら調べ、漢文についての理解を深める。 ・訓読及び内容理解のうえで重要な意味を持つ助字について理解する。 ・訓読のルールに従い、書き下し文・現代語訳に改めることに習熟する。	発表 ノート 課題 期末考査	発表 ノート 課題 期末考査	発表 ノート 課題 期末考査
	11					
	12	「短歌抄･俳句抄」 【詩歌に親しむ】 （書くこと）	・短歌俳句独自の特徴と表現効果を理解し，言葉に込められた情景や心情を味わい、想像力を働かせて主題を読み取って、近現代の短歌俳句を鑑賞する。 ・調べたり読み取ったりした内容を、鑑賞文やレポートにまとめ、話し合い発表し合う。 ・短歌俳句の伝統や技法を理解し、自らも創作する。			
3学期	1	「木曽の最期」(『平家物語』) 【軍記物語を通して歴史を見つめる】 （読むこと）	・和文の情緒的な柔らかさと、漢文の力強さ、明確な論理性とを合わせ持つ和漢混淆文の魅力を味わう。 ・文法事項を踏まえたうえで、物語の背景・文脈に沿った現代語訳に改める。 ・「義仲」、「兼平」、「巴」の心情を読み取り、聞き手に的確に伝わるように表現する。 ・『平家物語』の文学史的価値・後世への影響について調べ、聞き手に的確に伝わるように表現する。	発表 ノート 課題 ﾌﾟﾘﾝﾄ 学年末考査	発表 ノート 課題 ﾌﾟﾘﾝﾄ 学年末考査	発表 ノート 課題 ﾌﾟﾘﾝﾄ 学年末考査
	2	「鏡」(村上春樹) 【小説の表現を味わう】 （読むこと）	・特徴的な一人称語りによる表現を読み味わう。 ・「僕」の人物像、文章構成・舞台設定、表現の工夫を読み取る。 ・「鏡」及び「鏡」にまつわる「僕」の体験が何を意味しているかについて検証するとともに、自身の考えを聞き手に的確に伝わるように表現する。			
	3	「桜に関する作品を読み比べる」 【作品を読み比べ、日本文化を考える】 （書くこと）	・桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べながら、日本文化における桜のありようを探る。 ・描かれた桜を比較し、読み比べを通して気づいたことを文章にまとめる。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
本科目では、日本語の古典分野である古文・漢文、および現代の日本語で執筆された文学的文章を通して言語能力の向上を目指します。古文・漢文分野においては原文の持つ優れた機能を学びつつ、現代語に改める学習も行いますので、古語や漢字の意味を調べる作業を積極的に行ってください。また、現代語による文学的文章を読解する際にも、用いられている語句の理解がなければ内容を正しく理解することができませんので、あらかじめ語句の意味を調べておくことを習慣化してください。また、小説読解のための問題集にも取り組みましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	公共	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		2	2	2	2	2

学習の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力が身につくことを目指す。			
使用教材	教科書：私たちの公共（清水書院） 副教材：クローズアップ公共（第一学習社）			
評価	評価法	定期考査、小テスト、レポート課題、振り返りシート等により評価します。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
		②	思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4	第１部　公共の扉 第１章　社会で生きるということ 1　私たちと青年期 2　私たちと社会 3　人間の社会と文化	・青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。 ・世界の宗教や日本の思想等，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れることを通じて，自らの価値観を形成する。	小テスト、定期考査等	レポート等	振り返りシート等
	5	第２章　みんなが幸せな社会とは？ 1　よく生きるとは？　徳 2　幸福な社会とは？　功利主義 3　幸福な社会とは？　正義の原理	・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 ・幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを通して，人間としての在り方生き方について考えることがよりよく生きる上で重要であることを理解する。			
	6	第３章　公共的な空間における基本原理 1　個人の尊重と社会 2　民主主義，立憲主義 3　法はなぜ必要なのか	・人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解する。			
	7					
2学期	9	第２部　よりよい社会の形成と参画 第２章　私たちの生活と政治 1　日本の統治機構 2　国会のしくみとはたらき 3　内閣のしくみとはたらき 4　行政機関としての国の役割と体制 5　裁判所のしくみとはたらき 6　紛争解決のしくみ	・日本の統治機構と世界の統治機構と比較し，私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのか理解する。 ・国会と内閣のしくみと働きについて理解する。 ・日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解する。 ・裁判所のしくみと働きについて理解する。また，司法権の独立の意義について考える。 ・刑事裁判と民事裁判の違いについて理解する。また，紛争解決の様々なしくみについて理解する。	小テスト、定期考査等	レポート等	振り返りシート等

2学期	10	7　地方自治の役割と現状 8　選挙のしくみ 9　政党と政治参加 10　民主政治の原理と世論	・地方自治のしくみと意義や選挙のしくみと課題について理解する。 ・民主政治において世論が果たす役割と課題について理解する。	小テスト、定期考査等	レポート等	振り返りシート等
	11	第３章　平和主義と日本 1　日本の平和主義と憲法 2　日本の外交と平和な社会の構築 第４章 私たちの生活と経済 1　私たちの生活と経済活動 2　市場経済のしくみ 3　企業の経済的役割	・具体的な事例を通して，我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに，日本の安全保障の在り方について考察，構想する。 ・市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。			
	12	4　国民所得と私たちの生活 5　政府の経済的な役割 6　税金と国債を考える 7　金融機関の役割	・企業の役割とはたらきについて理解する。 ・財政と租税のしくみと機能について理解する。 ・「金融の働き」を事例に，金融のしくみと役割や，新たな金融の形態について考察，表現する。			
3学期	1	8　労働と雇用 9　社会保障制度の意義 第５章　私たちの生活と国際社会 1　国際社会と国際法 2　国際連合と国際機関	・「雇用と労働」を事例に，労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察，表現する。 ・「財政・租税の役割/社会保障」を事例に，日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って，循環可能な社会保障制度の在り方について，考察，構想する。 ・国際社会における国家主権の意味と，国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について理解する。	小テスト、定期考査等	レポート等	振り返りシート等
	2	3　平和な国際社会をめざす 4　グローバル化する社会 5　発展途上国の経済成長と地域的な経済統合 6　持続可能な国際社会	・第二次世界大戦後，世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。また，その歴史の中で，核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解する。 ・先進国と発展途上国との経済格差の問題とリージョナリズムが引き起こす意義と課題について理解する。			
	3	第３部　持続可能な社会を創る	・主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述する。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
現代社会の諸課題について学ぶ科目です。刻一刻と変化する現代社会の諸課題を考える上では、教科書のみならず時事問題を取り扱うこともあるでしょう。普段から日本と世界の政治と経済のニュースに関心を向けるようにしましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	数学Ⅰ	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		3	3	3	3	3
学習の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。					
使用教材	教科書：新編数学Ⅰ（実教出版） 副教材：新課程版 ラウンドノート数学Ⅰ（実教出版）					

評価				
	評価法	❶定期考査　❷小テスト　❸単元中テスト　❹課題プリント（レポート含む）　❺問題集 ❻学習への主体的な取り組み（授業時の取り組み，ノート，その他）により評価する。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりしている。
		②	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察したり、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。
		③	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4 5	１章　数と式 ・展開 ・因数分解	・単項式、多項式、項、次数、係数、定数項、多項式の次数など、式についての用語の意味を理解する。 ・整式の加法･減法･乗法、および因数分解についての理解を深め、乗法公式・因数分解の公式などを利用して整式の展開や計算、因数分解をする。			
		２節　実数 ・実数 ・根号を含む式の計算	・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や絶対値記号を含む式の基本的な考え方について理解を深める。 ・根号を含む式の計算について理解する。	❶ ❷	❶	❷
		中間考査				
	6	・分母の有理化	・分母の有理化について理解し、分母の有理化を活用して式の値を求める。		❹	❹
		・１次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式	・不等式とその解の意味を理解し、不等式の性質を利用して、１次不等式、連立１次不等式の解を求める。 ・大小に関する身近な問題の解決に１次不等式を活用する。 ・絶対値の性質を理解し、絶対値記号を含む方程式、不等式の解を求める。			❺ ❻
		２章　集合と論証 ・集合	・共通部分，和集合，補集合，集合の包含関係や要素の個数など、集合に関する基本的な事項を理解する。			
		・命題と論証	・命題の真偽と集合の包含関係、条件の否定、必要条・十分条件・必要十分条件について理解する。 ・命題の逆・裏・対偶の意味を理解し、その真偽を判定する。			
		期末考査				

1学期	7	3章　2次関数 ・関数の値	・２次関数の意味や関数の基本的な用語について理解し、関数を表す記号 y=f(x)を使うことができる。	❶ ❷ ❸	❶ ❸ ❹	❷ ❹ ❺ ❻
2学期	9	・２次関数のグラフ	・２次関数のグラフの特徴を理解し、平方完成をして頂点の座標、軸の方程式を求め、そのグラフを描く。			
		・２次関数の最大・最小	・２次関数の最大・最小について理解を深め、グラフを利用して、定義域に応じて最大値や最小値を求めることができる。また文章問題を通し、具体的な問題の解決に２次関数の最大・最小の考え方を活用する。			
		・２次関数の決定	・２次関数のグラフについて、与えられた条件を満たす２次関数を求める。			
	10	・２次方程式	・２次方程式の解の公式を理解し、２次方程式の解と２次関数のグラフとｘ軸との共有点との関係を理解する。また、２次方程式の判別式Ｄ＝b^2－４ａｃを用いて、２次関数のグラフとｘ軸の共有点の個数や位置関係について考察する。			
	11	・２次不等式	・２次関数のグラフとｘ軸との位置関係を利用して、２次不等式の解の意味を理解し、その解を求める。 ・２次不等式を含む連立不等式を解く。 ・具体的な問題の解決に２次不等式を活用する。			
		４章　図形と計量 ・三角比	・三角比(sin,cos,tan）の概念を理解し、様々な直角三角形において、三角比の値を求める。 ・日常に見られる建物の高さなど、長さに関する身近な問題の解決に三角比を利用して求める。			
		期末考査				
	12	・三角比の相互関係	・三角比の相互関係や性質を活用する。	❶ ❷ ❸	❶ ❸ ❹	❷ ❹ ❺ ❻
3学期	1	・三角比の拡張	・鋭角から鈍角まで拡張した三角比の定義を理解し、鈍角の三角比の値を求める。 ・鈍角まで拡張した場合の三角比の相互関係について理解を深め、活用することができる。			
	2	・三角比と図形の計量	・三角形の辺と角の間の基本的な関係として、正弦定理や余弦定理を理解し、それらを活用して外接円の半径や既知の辺や角から残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・面積の公式や正弦定理、余弦定理を用いて、図形の辺の長さや角の大きさ、面積を求める。			
		・データの分析	・データの平均値に着目して、データの散らばりの大きさを表すための方法として、偏差、分散、標準偏差を理解すると共に、目的に応じて、データを収集・整理し、把握する。			
		・仮説検定	・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解するとともに、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について考察する。			
		学年末考査				
	3	・課題学習	・数学Ｉで学習する内容と関連する身近な課題について主体的に学習し，数学のよさを知る。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
問題集を有効に活用し、授業で学習した内容の定着を図ってもらいたいと思います。最終的な答えが求まればそれでいいではなく、どのようにして求めたか、答えに至るまでの過程をきちんと記すことを意識して取り組むとともに、分からない所があれば積極的に質問する姿勢を持ってもらいたいと思います。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	科学と人間生活	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		2	2	2	2	2

学習の目標	自然と人間生活とのかかわり、科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に対する観察や実験を通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。			
使用教材	教科書：科学と人間生活（数研出版）			
評価	評価法	定期考査、レポート課題、ノート、振り返りシート等により評価します。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察や実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
		②	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察や実験を行い、得られた結果を分析して表現するなど、科学的に探究している。
		③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4	金属と人間生活 身のまわりの金属と製錬	さまざまな金属の性質と構造を学び、どのように人間生活に活かされているかを考える。鉄、銅、アルミニウムといった身近な金属が、鉱石から製錬されてできる過程を学ぶ。	期末考査	レポート課題 期末考査	振り返りシート レポート課題
	5	金属のさびとその防止 資源の再利用	金属がさびる仕組みや、それを防ぐめっきや合金について、真鍮づくりの実験を通じて学ぶ。金属やプラスチックをはじめとする資源の再利用方法について学び、循環型社会の実現を目指す。			
	6	眼の構造とはたらき 光の情報と生命活動	ヒトの視覚が生じる仕組みについて学び、ブタの眼の解剖を通じて生命倫理の感性も磨く。光が生物に与える影響について学び、体内時計を上手く使った生活方法を考える。			
	7	身のまわりの微生物	さまざまな微生物の細胞構造を理解し、生物の多様性と共通性について考える。			
2学期	9	発酵食品への微生物の利用 医薬品への微生物の利用	微生物が行う乳酸発酵やアルコール発酵によってつくられる発酵食品について学ぶ。微生物を利用してつくられたワクチンや抗生物質について学び、感染症対策を考える。	期末考査	レポート課題 期末考査	振り返りシート レポート課題
	10	生態系における微生物 温度と熱運動	生産者・消費者・分解者としての役割を担う微生物の働きについて学ぶ。熱とは何なのかを実験を通じて考えるとともに、セルシウス温度や絶対温度について学ぶ。			
	11	熱の伝わり方 熱容量と比熱	熱伝導・対流・熱放射の違いについて学び、物質の三態と熱運動の関わりについて考える。物質により異なる比熱を用いた計算を身につけ、熱の移動を定量的に捉えられるようにする。			
	12	仕事と熱	仕事によるエネルギーの移り変わりを熱量として捉えることにより、エネルギーの変換について理解する。			
3学期	1	日本列島とプレート 地震のしくみと地震活動	プレートテクトニクスによってもたらされる地形変化と、それに伴う断層について学ぶ。地震発生の仕組みや、それに伴う災害について学び、緊急地震速報の活用方法を考える。	期末考査	レポート課題 期末考査	振り返りシート レポート課題
	2	日本の気象災害 防災への取り組み	日本における台風や集中豪雨の特徴を学び、土砂災害への対処方法を考える。自然災害の被害を最小限にとどめるべく、各自でハザードマップを調べてレポートを作成する。			
	3	これからの科学と人間生活	科学と私たちの生活の関わり方について、各自で課題を設定して考察する。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
身のまわりの事象や最新のニュースについて、科学的観点からアプローチしていく科目です。楽しい実験を交えながら授業を進めますので、役立つ知識をどんどん増やしてください。教科書にはたくさんのＱＲコードが印字されており、タブレットで読み込めば動画等で学習を深められるようになっています。各自で積極的に活用してください。友達と意見交換したり、調べ学習の成果を発表し合ったりする機会を多く設けます。授業を通じて、話し方や聞く態度といったコミュニケーションの基本的な能力も向上させていってください。

令和７年度

<table>
<tr><td rowspan="2">学年</td><td rowspan="2">１年生</td><td colspan="5">単位数</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報システム科</td><td colspan="3">総合ビジネス科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">科目名</td><td rowspan="2">体育</td><td>開発</td><td>利用</td><td>Ⅰ類</td><td>Ⅱ類</td><td>Ⅲ類</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>学習の目標</td><td colspan="6">体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに，自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。

（１）運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付ける。
（２）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
（３）運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td colspan="6">教科書：体育理論…現代高等保健体育（大修館書店）体育編</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評価</td><td>評価法</td><td colspan="5">1 観察　2 スキルテスト
3 学習カード　4 パフォーマンス課題　から評価します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価観点の趣旨</td><td>①</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="2">運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに，それらの技能を身に付けている。</td></tr>
<tr><td>②</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="2">生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</td></tr>
<tr><td>③</td><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="2">生涯にわたって継続して運動に親しむために，運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするとともに，健康・安全を確保している。</td></tr>
<tr><td colspan="6">上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。</td></tr>
</table>

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
				①	②	③
1学期	4	オリエンテーション 体つくり運動	＜オリエンテーション＞ ・体育授業を受けるうえでの決まりを確認し、体育授業をスムーズに受けるための約束事を確認する。 ＜体つくり運動＞ ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康の保持増進や仲間とともに体力の向上を図る。 ・新体力テストを通し、自分の体力を理解する。	1 3	3	1

1学期	5 6	体育理論① 種目選択オリエンテーション 選択Ⅰ	<01 スポーツの始まりと変遷> ・スポーツがどのように始まったのか学ぶ。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのか学ぶ。 自己の能力、適性、興味・関心に応じて運動種目の選択をおこなう。 【選択Ⅰ・Ⅱ】ソフトボール，バレーボール，テニスから２つ以上選択。同種目選択不可。 ※必ずゴール型・ネット型・ベースボール型から２つ以上の型を選択すること。 <選択Ⅰ> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝える。 ・球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとする。	3 2 3	3 4 3 4	1 3 1 4
	7	体育理論②	<02 文化としてのスポーツ> ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を学ぶ。 ・多様なかかわり方によるスポーツ文化の変容について学ぶ。	3	3 4	1 3
2学期	9 10 11	体育理論③ 体つくり運動 選択Ⅱ	<03 オリンピックとパラリンピックの意義> ・オリンピズムとオリンピックの価値について学ぶ。 ・パラリンピックの価値，意義について学ぶ。 <体つくり運動> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに，健康の保持増進や仲間とともに体力の向上を図る。 【選択Ⅱ】ソフトボール，バレーボール，テニスから２つ以上選択。同種目選択不可。 ※必ずゴール型・ネット型・ベースボール型から２つ以上の型を選択すること。 <選択Ⅱ> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝える。 ・球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとする。	3 4 3 1 2 3	3 3 1 3 3 4	1 3 1 4
	12	体育理論④ 体育理論⑤	<04 スポーツが経済に及ぼす効果> ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを学ぶ。 ・スポーツにかかわる業種について学ぶ。 <05 スポーツの高潔さとドーピング> ・スポーツの高潔さを脅かす要因について学ぶ。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを学ぶ。	3	3 4	1 3

3学期	1 2	体つくり運動 選択Ⅲ	＜体つくり運動＞ ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに，健康の保持増進や仲間とともに体力の向上を図る。 【選択Ⅲ】陸上競技（長距離走），ダンス（現代的なリズムのダンス）より１選択 ＜陸上競技（長距離走）＞ ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，ペースの変化に対応して走る。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすること，健康・安全を確保する。 ＜ダンス（現代的なリズムのダンス）＞ ・感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり，自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，ダンスの名称や用語，文化的背景と表現の仕方，交流や発表の仕方，課題解決の方法，体力の高め方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに，互いに共感し高め合おうとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどや，健康安全を確保する。	3 2 3	3 4 3 4	1 3 1 4
	3	体育理論⑥	＜スポーツと環境＞ ・スポーツにおける環境問題について学ぶ。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのかを学ぶ。	3	3 4	1 3

担当者からのメッセージ（学習方法など）
体育は，実技がうまくできるかということに焦点をあてられがちですが，その点（技能）のみで評価をするわけではありません。知識や考える力，それを表現する力，主体的に学習に取り組む力なども評価の観点として総合的に評価をします。 生涯にわたってスポーツを実践する礎となるように，前向きに，積極的な態度で授業を楽しんでください。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	保健	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		1	1	1	1	1

学習の目標	保健の見方・考え方を働かせ，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し，改善していくための資質・能力を次の通り育成することを目標とする。 （１）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。 （２）健康についての自他の社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 （３）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
使用教材	教科書：現代高等保健体育（大修館書店） 副教材：図説現代高等保健（大修館書店）

評価	評価法	1定期考査　2パフォーマンス課題 3ノート　4授業での取り組み　から評価します。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに，技能を身に付けている
		②	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに，目的や状況に応じて他者に伝えている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4	【現代社会と健康】 01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康のすがた	・さまざまな健康の考え方について学ぶ。 ・健康を成り立たせている要因について学ぶ。 ・わが国の健康水準の変化とその背景について学ぶ。 ・わが国の現在の健康問題について学ぶ。	1 2	2 4	3 4
	5	03 生活習慣病の予防と回復 04 がんの原因と予防	・生活習慣病の種類と要因について学ぶ。 ・生活習慣病の一次予防，二次予防について学ぶ。 ・がんの種類や原因について学ぶ。 ・がんの一次予防と二次予防について学ぶ。			
	6	05 がんの治療と回復 06 運動と健康 07 食事と健康 08 休養睡眠と健康	・がんのおもな治療法や緩和ケアについて学ぶ。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について学ぶ。 ・健康と運動の関係について説明できる。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて学ぶ。 ・食事と健康の関係について学ぶ。 ・健康的な食事のとり方について学ぶ。 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について学ぶ。 ・健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について学ぶ。			
	7	09　喫煙と健康	・喫煙者やその周囲の人に起こる害について学ぶ。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて考える。			

2学期	9	10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴	・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を学ぶ。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について学ぶ。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について学ぶ。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策を学ぶ。 ・精神疾患の例をあげ，発病の要因と主な症状について学ぶ。 ・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。	1 2	2 4	3 4
	10	13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15現代の感染症	・精神疾患を予防する方法について学ぶ。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて学ぶ。 ・精神疾患の治療について学ぶ。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには，どのような社会環境が必要か学ぶ。 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて学ぶ。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ学ぶ。			
	11	16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択	・感染症の予防対策について，３原則を学ぶ。 ・感染症への個人と社会の対策について学ぶ。 ・性感染症・エイズがほかの感染症とは異なる点について学ぶ。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて考える。 ・意思決定・行動選択に影響を与える要因について学ぶ。 ・健康に関する適切な意志決定・行動選択の際の工夫について例をあげて考える。			
	12	19 健康に関する環境づくり	・社会環境の健康への影響について学ぶ。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について学ぶ。			
3学期	1	【安全な社会生活】 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成 03 交通における安全	・事故の実態と被害の実態について学ぶ。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて学ぶ。 ・安全のために必要な個人の行動について学ぶ。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について学ぶ。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について学ぶ。 ・交通事故における３つの責任について学ぶ。	1 2	2 4	3 4
	2	04 応急手当の意義とその基本 05 日常的な応急手当	・応急手当の意義について学ぶ。 ・傷病者を発見したときに，確認・観察するポイントを学ぶ。 ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について学ぶ。 ・実際に，日常的なけがや熱中症の応急手当ができるようになる。			
	3	06 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法と手順について学ぶ。 ・実際に，心肺蘇生法をおこなうことができるようになる。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
定期考査は各学期末に１回，年間計３回おこないます。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	英語コミュニケーションⅠ	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		3	3	3	3	3

学習の目標	英語学習の特質を踏まえ、「五つの領域」〔聞くこと・読むこと・話すこと（やり取り）・話すこと（発表）・書くこと〕別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。また適切に表現したり、伝えあったりする力を一体的に養うとともに、その過程を通して主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする資質や能力を育む。			
使用教材	教科書：「PANORAMA ENGLISH COMMUNICATION Ⅰ」（大修館） 副教材：「PANORAMA ENGLISH COMMUNICATION Ⅰ［予習・復習ノート］」（大修館）			
評価	評価法	定期考査、課題考査 単語テスト、パフォーマンス課題、授業用ノート、予習・復習ノート、 振り返りシート　※上記のものを適宜課して、評価材料とする。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
		②	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4	Lesson 1 Words to Live By	現在・過去・未来の表現 ＊人物についての会話や説明を聞いて理解する。 ＊人物についての英文を読んで概要や要点を理解する。 ＊人物やその人の考えについてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながら人物について話す。 ＊自分の余暇の行動について簡潔に書く。	小テスト		予習・復習プリント
	5	Lesson 2 My English Experience	助動詞・受動態・動名詞 ＊駅での会話やアナウンスを聞いて理解する。 ＊英語体験についての英文を読んで概要や要点を理解する。 ＊お互いの英語体験についてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながら他の人の経験について話す。 ＊日本の発明品について簡潔に書く。			
		中間考査		定期考査	定期考査	
	6	Lesson 3 Our Feline Friends	不定詞・ S+V+O(that/if 節)・ 接続詞 ＊ペットや動物についての会話を聞いて理解する。 ＊ペットや動物についての英文を読んで概要や要点を理解する。 ＊ペットや動物についてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながらペットや動物について話す。 ＊好きなペットについて簡潔に書く。	小テスト		パフォーマンス課題

1学期	7	Lesson 4 Work in the Future	比較表現・S+V+O+to・S+V+O+C（名詞／形容詞）・S+be動詞+形容詞+that節 ＊食べ物についての会話や説明を聞いて理解する。 現在完了形・現在完了進行形・S＋V(be動詞以外) ＋C(形容詞) ＊将来の職業についての会話や説明を聞いて理解する。 ＊職業についての英文の概要や要点を読んで理解する。 ＊将来の職業についてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながら職業の変化について話す。 ＊興味のある職業について簡潔に書く。			予習・復習プリント
		期末考査		定期考査	定期考査	
2学期		課題考査				課題考査
	9	Lesson 5 My Favorite Food: Rice	比較表現・S+V+O+to・S+V+O+C（名詞／形容詞）・ S+be動詞+形容詞+that節 ＊食べ物についての会話や説明を聞いて理解する。 ＊食文化についての発表の概要や要点を読んで理解する。 ＊和食についてやり取りする。 ＊絵や図を見せながら食文化について話す。 ＊好きな食べ物とその理由について簡潔に書く。	小テスト		予習・復習プリント
	10	Lesson 6 A Long Way Home	It is ～ for＋<人など>＋to 不定詞・ 前置詞句による修飾・ 分詞による修飾（現在分詞／過去分詞） ＊実話についての会話や説明を聞いて理解する。 ＊実話に基づく物語の概要や要点を読んで理解する。 ＊物語や登場人物の心情についてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながら物語のあらすじを話す。 ＊思い出に残っている旅について簡潔に書く。			
	11	Lesson 7 Can You Read Faces?	関係代名詞（目的格／主格）・疑問詞（howなど)＋to不定詞・ 間接疑問 ＊人間の心理についての会話や講義を聞いて理解する。 ＊人間の心理についての英文の概要や要点を読んで理解する。 ＊人間の感情についてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながら人間の表情について話す。 ＊他の教科で学んだことについて簡潔に書く。			パフォーマンス課題
	12	Lesson 8 Make People Shine: Choreo-director, MIKIKO	仮定法過去・S＋V(使役／知覚動詞)＋O＋動詞の原形・seem/appear＋to不定詞 ＊日常の行動についての会話や指示を聞いて理解する。 ＊スペシャリストについての英文の概要や要点を読んで理解する。 ＊スペシャリストとその仕事についてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながらスペシャリストの業績について話す。 ＊身近な人などについて簡潔に書く。			予習・復習プリント
		期末考査		定期考査	定期考査	

3学期		課題考査				課題考査
	1 2 3	Lesson 9 Our Desire to Fly	関係代名詞 what ・関係副詞 where /when ・ 助動詞を含む受動態 ＊人類の発明についての会話や説明を聞いて理解する。 ＊人類の飛行の歴史についての英文の概要や要点を読んで理解する。 ＊人類の飛ぶことへの興味についてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながら人類の飛行の歴史について話す。 ＊タイムマシンでしたいことについて簡潔に書く。	小テスト		予習・復習プリント
		Lesson 10 Loving the Earth	過去完了形・過去完了進行形・S+V(be動詞以外) +C(分詞) ＊環境保護についての会話や説明を聞いて理解する。 ＊環境保護についての発表の概要や要点を読んで理解する。 ＊環境保護についてやり取りする。 ＊絵や写真を見せながら地球環境保護についてプレゼンテーションをする。 ＊自分や身近な人が環境を守るためにしていることを簡潔に書く。			パフォーマンス課題
		学年末考査		定期考査	定期考査	

担当者からのメッセージ（学習方法など）
英語で聞いたり、読んだり、やり取りをしたり、書いたりする活動を通して、実際のコミュニケーションで適切に活用できる力を身に付けます。また、スピーチ発表をすることで、自分が伝えたいことを英語で表現する力を養い、他の人達の発表を聞くことで、視野を広げていきます。授業では英語による質問に答えたり、ペアワークをすることがあります。積極的に英語を使うようにして、コミュニケーション能力を一緒に高めていきましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	論理・表現Ⅰ	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		2	2	2	2	2

学習の目標	英語学習の特質を踏まえ、「話すこと［やりとり］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」の三つの領域別に設定する目標の実現を目指し、知識・技能、思考・判断・表現力を一体的に育むとともに、その過程を通して、学びに向かう力、人間性等を育む。			
使用教材	教科書：BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅰ（数研出版） 副教材：BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅰ ワークブック（数研出版）			
評価	評価法	定期考査、課題考査、パフォーマンス課題（プレゼンテーション、ライティング課題等）、 ノート、ワークブック、振り返りシート、等により 評価観点の趣旨を踏まえて評価します。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
		②	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評点（１～５ の ５ 段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4	Part 1 Lesson 1 ～ 3	中学校の内容を含む英語表現の基礎			予習・復習プリント
		Lesson 4 My Friends	① is／is not[isn’t]／don’t, etc. ② Is ～?／Does ～?／Where ～?, etc. ＊「～である［ない］」「～ですか［しますか］」などを英語で表現する。 ＊友人など、身の回りの人について英語で表現する。			
		Lesson 5 My Family	① 現在形と現在進行形 ② 過去形と過去進行形 ＊「～する［している］」「～した［していた］」などを英語で表現する。 ＊ 家族など、身の回りの人について英語で表現する。			
	5	Lesson 6 Pastime	① will 〔単純未来・意志未来〕 ② be doing／be going to do ＊未来に行うことについて、英語で表現する。 ＊余暇の予定や計画などについて、英語で表現する。			
		Lesson 7 My Town	① 現在完了（進行形） ② 過去完了（進行形） ＊現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現する。 ＊自分の町や身の回りの状況について英語で表現する。			
		中間考査		定期考査	定期考査	

1学期	5	Lesson 8 Our Teachers	① can／may〔可能・許可〕 ② may／must／can’t〔推量〕 ＊能力・許可・推量などの意味を英語で表現する。 ＊先生や学校での生活について英語で表現する。			パフォーマンス課題
		Lesson 9 Visiting a Museum	① should／must〔提案・義務，必要〕 ② 助動詞＋have＋過去分詞 ＊必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現する。 ＊催し物や行動・活動などについて英語で表現する。			
	6	Lesson 10 Famous People	①〈SVC〉／〈SVO〉　②〈SVOO〉／〈SVOC〉 ＊「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現する。 ＊有名人などについて英語で表現する。			予習・復習プリント
		Lesson 11 Reading	① be動詞＋過去分詞 ② be known to／be satisfied with, etc. ＊「～される［されない］」「～に満足している」などを英語で表現する。 ＊読書や感情に関連する事柄などについて英語で表現する。			
		Lesson 12 Studying Abroad	不定詞 ① 名詞的用法　② how to do／形容詞的用法 ＊「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現する。 ＊希望や目標、物事を行う方法などについて英語で表現する。			
		Lesson 13 Advice	不定詞 ① 副詞的用法　② ask ～ to do／see[let] ～ do〔原形不定詞〕、 etc. ＊「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを英語で表現する。 ＊助言や頼み事などについて英語で表現する。			
	7	Lesson 14 Hobbies	動名詞 ① 名詞的用法／意味上の主語 ② to-不定詞と動名詞 ＊「～すること」などを英語で表現する。 ＊趣味やその他の日常の活動について英語で表現する。			
		Lesson 15 My Vacation	分詞 ① 形容詞的用法　② SV＋分詞／SVO＋分詞 ＊「～している［された］…」「～しに行く」「～しているのを見る」などを英語で表現する。 ＊休暇での出来事などについて英語で表現する。			
		期末考査		定期考査	定期考査	
2学期	9	Lesson 16 In a Zoo	① as ～ as …／not as ～ as … ② -er than …／more ～ than … ＊ 2つのものを比べて、「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現する。 ＊動物の特徴や人の行動について他と比較して英語で表現する。			予習・復習プリント
		Lesson 17 Our Team	① the -est／the most ～ ② twice as ～ as …／as ～ as one can, etc. ＊「最も～」「2 倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現する。 ＊学校での活動などについて他と比較して英語で表現する。			
		Lesson 18 Neighbors	① who, which〔主格〕　② whom, which〔目的格〕 ＊「～する人/ 物」「…が～する人/ 物」などを英語で表現する。 ＊近所の人などについて簡単な説明を加えて英語で表現する。			

2学期	10	Lesson 19 Speeches	① what／what we call, etc. ② where, when, etc.〔関係副詞〕 ＊「…が～すること」「…が～する場所［時］」などを英語で表現する。 ＊友人の話や場所・時などについて簡単な説明を加えて英語で表現する。			
		Lesson 20 My Wish	① 仮定法過去／仮定法過去完了 ② I wish＋仮定法 ＊事実と異なる状況[願望など］を英語で表現する。 ＊自分の願望などの仮定の話について英語で表現する。			
		Lesson 21 A Birthday Gift	① 名詞節を導くthat, if［whether］ ② 副詞節を導くwhen, because, if ＊名詞の働きをする節や，時・理由・条件を表す節を，英語で表現する。 ＊プレゼントを贈る場面などについて英語で表現する。			
	11	Part 2 Lesson 1 School Life	① Would you like to ～? / Let’s ～ ② Shall we ～? ③ Why don’t we ～? ④ How about ～? ＊英語で勧誘・提案を行う。 ＊学校生活について英語で表現する。			パフォーマンス課題
		Lesson 2 School Subjects	① Will you ～?／Can you ～? ② Could you ～? ③ Why ～?／Because....☒ ＊英語で依頼する，理由を聞く・述べる。 ＊学校の教科について英語で表現する。			
		Lesson 3 Free Time	① ～, don’t you? etc. ② actually ③ You mean ～? ＊英語で確認・訂正を行う。 ＊余暇の過ごし方について英語で表現する。			予習・復習プリント
		Lesson 4 Feeling Well?	① What’s the matter? / You’d better ～ ② I think you should ～, etc. ＊英語で心配を表わしたり，助言を行う。 ＊体調などに関して英語で表現する。			
	12	Lesson 5 Housework	① need to ～ ② (don’t) have to ～ ③ be supposed to ～ ＊英語で義務・必要を述べる。 ＊家事について英語で表現する。			
		Lesson 6 The Internet Is Fun	① can’t wait to ～ ② look forward to ～ ③ be certain[sure] ～ ＊英語で期待・確信を述べる。 ＊インターネットに関して英語で表現する。			
		Lesson 7 I’ve Lost Your Book	① Excuse me for ～ / That’s OK. ② I’m (really) sorry ～, it’s nothing, etc. ＊英語で謝罪したり，謝罪に応じる。 ＊失敗したことなどについて英語で表現する。			
		期末考査		定期考査	定期考査	
3学期	1	Lesson 8 Planning a Trip	① be planning to ～ / be going to ～ ② be thinking of ～ ③ be ～ing ＊英語で計画・予定を述べる。 ＊旅行や休日の計画を英語で表現する。			予習・復習プリント
		Lesson 9 Experiences Abroad	① How did you like ～? / I found it ～ / actually ② my best experience was ～ ＊英語で感想を尋ねたり、述べる。 ＊旅行などでの経験について英語で表現する。			
		Lesson 10 Exchange Students	① so ～ that ... ② enough to ～ ③ too ... to ～ ＊英語で程度・結果を述べる。 ＊人の性格や特徴などについて英語で表現する。			パフォーマンス課題
		Lesson 11 I want to be a …	① What do you want to ～? / in order to ～ ② so that ... can ～ ③ have a dream of ～, etc. ＊英語で願望・目的を述べる。 ＊職業について英語で表現する。			

3学期	2	Lesson 12 Cheer Up Your Friend	① What’s bothering you? / I’m very sorry to hear ～ / I hope ～ ② Is everything all right?, etc. ＊英語で同情・共感したり，励ます。 ＊悩みごとについて英語で表現する。			
		Lesson 13 Farewell Party	① Thanks a lot for ～ / You’re welcome. ② I’m really grateful to ～ / Don’t mention it, etc. ＊英語で感謝・喜びの気持ちを述べる。 ＊送別の場面などについて英語で表現する。			
		Lesson 14 Saving Resources	① agree with / be in favor of[against] ～ ② I totally agree / don’t entirely agree, etc. ＊英語で賛成・反対を述べる。 ＊環境問題について英語で表現する。			
	3	Lesson 15 Social Problems	① How do you feel about ～? / Personally, ～ ② What do you think of ～, etc. ＊英語で意見を尋ねる・述べる。 ＊社会問題について英語で表現する。			
		学年末考査		定期考査	定期考査	

担当者からのメッセージ（学習方法など）
論理・表現Ⅰは発信能力に重きを置く科目です。授業中の英語によるやりとりやペアワークに積極的に参加しましょう。また、日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句を用いて、自分の意見を述べたり、友達の発表を聞いて、意見や感想を伝えあいましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	ビジネス基礎	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		3	3	3	3	3
学習の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を身に付ける。 （１）ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （２）ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 （３）ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
使用教材	教科書：ビジネス基礎（実教出版） 副教材：全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集　３級（実教出版）					

評価				
	評価法	小テスト パフォーマンス課題（レポート・発表・自主的な取り組み・定期考査振り返りシート）定期考査・課題考査		
	評価観点の趣旨	①	知識・技術	ビジネスに関する基礎的かつ基本的な知識と技術を身に付けている。
		②	思考・判断・表現	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、根拠に基づいてよりよく解決する力を身に付けている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	自らビジネスについて学び、組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとする態度を身に付けている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
				①	②	③
1学期	4	第１章 商業の学習とビジネス １．いざ、ビジネスの世界へ ２．私たちの社会とビジネス	・商業を学ぶ重要性、ビジネスで必要な心構え、商業の学習内容（４つの学習分野）について理解する。 ・生活とビジネスの関わりについて、具体的な事例と関連付けて理解する。 ※普通計算部門の学習を毎授業初めに行う。		パフォーマンス課題	
	5	第２章 ビジネスとコミュニケーション １．コミュニケーション ２．ビジネスマナー 中間考査 ２．ビジネスマナー ３．情報の入手と活用	・ビジネスマナーの重要性、基本的なビジネスマナーについて理解する。 ・ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を身に付ける。 ・企業活動における情報の重要性について理解する。	定期考査	パフォーマンス課題・定期考査	パフォーマンス課題・定期考査
	6	第３章 経済と流通の基礎 １．経済の仕組みとビジネス ２．経済活動と流通 第７章 ビジネス計算 １．ビジネス計算の基礎 期末考査	・経済の仕組みと流通の必要性について理解する。 ・ビジネス計算に関する知識や技術を学び、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	定期考査	パフォーマンス課題・定期考査	パフォーマンス課題・定期考査
	7	第７章 ビジネス計算 ２．ビジネス計算の応用	・ビジネス計算に関する知識や技術を学び、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	小テスト		
2学期	9	課題考査 第４章 さまざまなビジネス １．ビジネスの種類 ２．小売業 ３．卸売業 ４．金融業	※普通計算部門・ビジネス計算部門の学習を毎授業初めに行う。 ・ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて理解する。	課題考査	パフォーマンス課題・課題考査	パフォーマンス課題・課題考査

2学期	10 11	課題考査 第５章 企業活動の基礎 １．ビジネスと企業 ２．マーケティングの重要性 ６．雇用 第６章 ビジネスと売買取引 １．売買取引の手順 ２．代金決済	・企業活動の形態と組織、経営理念や経営戦略について理解する。 ・マーケティングの重要性と流れ、資金調達の方法について理解する。 ・企業にかかわる税の種類、雇用の形態とそれに伴う企業の責任について理解する。 ・売買契約、売買取引の流れ、代金決済など、取引に関する知識について理解する。 ※全商ビジネス計算実務検定３級受験	課題考査	パフォーマンス課題・課題考査	パフォーマンス課題・課題考査
	12	期末考査 第８章 身近な地域のビジネス １．さまざまな地域の魅力と課題	・地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について理解する。	定期考査	パフォーマンス課題・定期考査	パフォーマンス課題・定期考査
3学期	1 2 3	第８章 身近な地域のビジネス １．さまざまな地域の魅力と課題 ２．地域ビジネスの動向 第２章（振り返り） 学年末考査	・地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について理解する。 ・地域のビジネスに関する知識などを基に、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、対応策を考える。 ・地域を知るフィールドワーク	定期考査	パフォーマンス課題・定期考査	パフォーマンス課題・定期考査

担当者からのメッセージ（学習方法など）
この科目で学ぶことは、ほかの商業科目を学習する際の土台となり、経済やビジネスに関心を持つことが大切です。意識的にテレビのニュースや新聞記事に目を通してみましょう。学習した知識と社会を結び付け、将来を見据えてビジネスに対する視野や考え方を広げていきましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	簿記（情報システム科）	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		3	3	－	－	－
学習の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を身に付ける。					
使用教材	教科書：新簿記　（実教出版） 副教材：最新段階式　簿記検定問題集　全商３級（実教出版） 反復式　簿記問題集　全商２級（実教出版）					

評価				
	評価法	定期考査・小テスト・パフォーマンス課題（プレゼンテーション）、ノート、問題集 振り返りシートで評価します。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技術	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
		②	思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適応する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4	第１章 簿記の基礎	・簿記の意味，目的など，記帳の重要性を理解する。 ・簿記の種類，歴史，前提条件など，簿記の基礎を理解する。			小テスト
		第２章 資産・負債・純資産と貸借対照表	・資産，負債，純資産（資本）の意味など，これらの相互関係を理解する。 ・貸借対照表の意味，形式などの作成方法を習熟する。 ・期首と期末の資本によって，純損益を計算する方法（財産法）を理解する。			小テスト
		第３章 収益・費用と損益計算書	・収益，費用の意味，収益，費用による純損益の計算（損益法）を理解する。 ・損益計算書の意味，形式など，その作成方法を習熟する。			小テスト
		第４章 取引と勘定	・取引の意味や勘定，勘定科目，勘定口座などの意味を理解する。 ・勘定のルールを習熟する。 ・取引を分解して，勘定に記入する方法を理解，習熟する。 ・貸借平均の原理を理解する。			小テスト
	5	第５章 仕訳と転記	・仕訳の意味，各種の取引の仕訳を習熟する。 ・仕訳を勘定口座に転記する方法を習熟する。			小テスト
	5	中間考査		定期考査	定期考査	問題集 ノート

1学期	5	第６章 仕訳帳と総勘定元帳 第７章 試算表 第８章 精算表	・仕訳を勘定口座に転記する方法を習熟する。 ・総勘定元帳の意味，仕訳帳からの転記の仕方を習熟する。 ・試算表の意味，種類，それぞれの特徴などを理解する。 ・試算表の作成方法を習熟する。 ・精算表の意味，その作成を習熟する。 ・精算表から複式簿記のしくみを理解する。			小テスト 小テスト 小テスト
	6	第９章 決算 第10章 現金・預金などの取引 第11章 商品売買の取引	・決算の意味，必要性，重要性について理解する。 ・決算手続きのなかの総勘定元帳の締め切り手続きを習熟する。 ・繰越試算表の役割を理解する。 ・簿記で現金として扱われるものには，どのようなものがあるかを理解する。 ・現金に関する記帳方法を理解する。 ・現金出納帳の役割とその記帳方法について理解する。 ・現金過不足の意味，記帳方法について理解する。 ・当座預金と小切手のしくみ，当座預金に関する記帳方法について理解する。 ・当座借越の意味について理解する。 ・当座預金出納帳の役割とその記帳方法について理解する。 ・その他の預金の種類とその記帳方法について理解する。 ・小口現金の意味および記帳方法，小口現金出納帳の記入方を習熟する。 ・商品売買に関する取引について，3分法によって記帳する方法を理解する。 ・仕入帳，売上帳，商品有高帳の役割を理解し，その記入方法について習熟する。			小テスト 小テスト 小テスト
	6	期末考査		定期考査	定期考査	問題集 ノート
	7	第11章 商品売買の取引	・商品有高帳については先入先出法と移動平均法を理解する。 ・3 分法によって記帳している場合の商品売買損益の計算について理解する。			
2学期	9	課題考査 第12章 掛け取引 第13章 手形の取引 第14章 その他の債権・債務の取引 第15章 固定資産の取引	 ・掛け取引の意味および売掛金，買掛金の意味を正確に理解する。 ・売掛金勘定と売掛金元帳の関係および売掛金に関する基本仕訳について理解する。 ・買掛金勘定と買掛金元帳の関係および買掛金に関する基本仕訳について理解する。 ・商品代金の決済に用いられる約束手形の内容と，手形債権，手形債務の発生，消滅の関係を明確に理解する。 ・手形の振り出し，決済の記帳方法について習熟する。 ・受取手形記入帳と支払手形記入帳の記入方法を理解する。 ・売掛金，買掛金，受取手形，支払手形以外の債権，債務の諸勘定の意味を理解する。 ・その他の債権，債務に関する基本仕訳を理解する。 ・固定資産の意味と種類について理解する。 ・固定資産を取得したとき，不要になって売却したときのそれぞれの記帳方法について理解する。	考査	考査	考査 問題集 小テスト 小テスト 小テスト 小テスト

2学期	10	第16章 個人企業の資本の取引 第17章　販売費と一般管理費，税金の取引 第18章 決算整理 （その１） 第19章 ８桁精算表	・個人企業の資本の記帳方法について理解する。 ・引出金勘定を用いた場合の記帳方法について理解する。 ・所得税と住民税の記帳方法について理解する。 ・販売費及び一般管理費の意味と種類について理解する。 ・営業活動のために支払われた費用を，販売費及び一般管理費勘定で統括した場合の記帳方法について理解する。 ・個人企業に課せられる税金の概略を理解する。 ・個人企業に課せられる税金の記帳方法について理解する。 ・消費税の意味，その記帳方法について理解する。 ・決算整理の意味とその必要性を理解する。 ・3分法による商品売買に関する勘定の整理，貸し倒れの見積もり，減価償却の処理法，現金過不足の処理，当座借越勘定への振り替えを理解し，その記帳方法を習熟する。 ・棚卸表の意味や記入する内容について理解する。 ・8桁精算表の意味を理解する。 ・8桁精算表の作り方を理解し，その作成を習熟する。			小テスト 小テスト 小テスト
	11	第20章 会計決算 第21章 会計帳簿 第22章 伝票の利用 第23章 会計ソフトウェアの活用 第24章 特殊な手形の取引	・帳簿決算の意味とその必要性を理解する。 ・総勘定元帳の締め切りと，繰越試算表，損益計算書，貸借対照表の作成を習熟する。 ・会計帳簿の役割と種類を理解する。 ・分課制度と帳簿組織との関連について理解する。 ・証ひょう，伝票の意味とその役割を理解する。 ・3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解する。 ・取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解する。 ・会計ソフトウェアと伝票，証ひょうとの関わりを理解し，伝票，証ひょうから会計ソフトウェアに取引を入力する方法を習熟する。 ・手形の裏書譲渡の意味，その記帳方法を理解する。 ・手形の割引の意味，その記帳方法を理解する。 ・手形の裏書譲渡の意味，その記帳方法を理解する。 ・手形の割引の意味，その記帳方法を理解する。			小テスト 小テスト 小テスト 小テスト 小テスト
	11	期末考査		定期考査	定期考査	問題集 ノート
	12	第24章 特殊な手形の取引	・手形が不渡りになった場合の処理手続きと記帳方法を理解する。 ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味，その記帳方法を理解する。 ・手形の裏書譲渡，割引，書き換え，不渡りの意味，その記帳方法を理解する。			小テスト

3学期	1	課題考査 検定学習 第24章 特殊な手形の取引 第25章 有価証券の取引 第26章 本支店会計	 ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味，その記帳方法を理解する。 ・有価証券の意味と種類を理解する。 ・有価証券の取得，売却の記帳方法を理解する。 ・支店会計の独立の意味を理解する。 ・支店会計が独立している場合の本支店間の取引の意味とその記帳方法を理解する。 ・本支店の財務諸表の合併の意味と合併財務諸表を作成する技術を習熟する。	考査	考査	考査 問題集 小テスト 小テスト 小テスト 小テスト
	2	第26章 本支店会計 第28章 決算整理 （その２） 第29章 株式会社の取引と財務諸表	・本店集中計算制度の意味と支店相互間の取引の記帳方法を理解する。 ・費用，収益の繰り延べ，見越しの意味とそれぞれの記帳方法を習熟する。 ・有価証券の評価の記帳方法を習熟する。 ・減価償却の間接法による記帳方法，定率法による計算方法を習熟する。 ・郵便切手などの未使用分の記帳方法を習熟する。 ・費用，収益の繰り延べ，見越し，減価償却（定率法），有価証券の評価などを含めた8桁精算表および財務諸表の作成を習熟する。 ・株式会社の設立，株式の発行時に関する取引の記帳について理解する。 ・純利益の計上，剰余金の配当と処分の記帳について理解する。 ・株式会社に課せられる税金の記帳方法について理解する。 ・株式会社の財務諸表の作成を習熟する。			小テスト 小テスト 小テスト
	2	学年末考査		定期考査	定期考査	問題集 ノート
	3	第29章 株式会社の取引と財務諸表	復習			

担当者からのメッセージ（学習方法など）

ロイロノート・問題集などを活用し、復習をしましょう。また、質問等は、メモをしましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	簿記（総合ビジネス科）	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		－	－	4	4	4

学習の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を身に付ける。			
使用教材	教科書：新簿記　（実教出版） 副教材：最新段階式　簿記検定問題集　全商３級（実教出版） 反復式　簿記問題集　全商２級（実教出版）			
評価	評価法	定期考査・小テスト・パフォーマンス課題（プレゼンテーション）、ノート、問題集 振り返りシートで評価します。		
	評価観点の趣旨	①	知識・技術	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
		②	思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適応する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4	第１章 簿記の基礎	・簿記の意味，目的など，記帳の重要性を理解する。 ・簿記の種類，歴史，前提条件など，簿記の基礎を理解する。			小テスト
		第２章 資産・負債・純資産と貸借対照表	・資産，負債，純資産（資本）の意味など，これらの相互関係を理解する。 ・貸借対照表の意味，形式などの作成方法を習熟する。 ・期首と期末の資本によって，純損益を計算する方法（財産法）を理解する。			小テスト
		第３章 収益・費用と損益計算書	・収益，費用の意味，収益，費用による純損益の計算（損益法）を理解する。 ・損益計算書の意味，形式など，その作成方法を習熟する。			小テスト
		第４章 取引と勘定	・取引の意味や勘定，勘定科目，勘定口座などの意味を理解する。 ・勘定のルールを習熟する。 ・取引を分解して，勘定に記入する方法を理解，習熟する。 ・貸借平均の原理を理解する。			小テスト
	5	第５章 仕訳と転記	・仕訳の意味，各種の取引の仕訳を習熟する。 ・仕訳を勘定口座に転記する方法を習熟する。			小テスト
	5	中間考査		定期考査	定期考査	問題集 ノート

1学期	5	第６章 仕訳帳と総勘定元帳 第７章 試算表 第８章 精算表	・仕訳を勘定口座に転記する方法を習熟する。 ・総勘定元帳の意味，仕訳帳からの転記の仕方を習熟する。 ・試算表の意味，種類，それぞれの特徴などを理解する。 ・試算表の作成方法を習熟する。 ・精算表の意味，その作成を習熟する。 ・精算表から複式簿記のしくみを理解する。			小テスト 小テスト 小テスト
	6	第９章 決算 第10章 現金・預金などの取引 第11章 商品売買の取引	・決算の意味，必要性，重要性について理解する。 ・決算手続きのなかの総勘定元帳の締め切り手続きを習熟する。 ・繰越試算表の役割を理解する。 ・簿記で現金として扱われるものには，どのようなものがあるかを理解する。 ・現金に関する記帳方法を理解する。 ・現金出納帳の役割とその記帳方法について理解する。 ・現金過不足の意味，記帳方法について理解する。 ・当座預金と小切手のしくみ，当座預金に関する記帳方法について理解する。 ・当座借越の意味について理解する。 ・当座預金出納帳の役割とその記帳方法について理解する。 ・その他の預金の種類とその記帳方法について理解する。 ・小口現金の意味および記帳方法，小口現金出納帳の記入方法を習熟する。 ・商品売買に関する取引について，3分法によって記帳する方法を理解する。 ・仕入帳，売上帳，商品有高帳の役割を理解し，その記入方法について習熟する。			小テスト 小テスト 小テスト
	6	期末考査		定期考査	定期考査	問題集 ノート
	7	第11章 商品売買の取引	・商品有高帳については先入先出法と移動平均法を理解する。 ・3 分法によって記帳している場合の商品売買損益の計算について理解する。			
2学期	9	課題考査 第12章 掛け取引 第13章 手形の取引 第14章 その他の債権・債務の取引 第15章 固定資産の取引	 ・掛け取引の意味および売掛金，買掛金の意味を正確に理解する。 ・売掛金勘定と売掛金元帳の関係および売掛金に関する基本仕訳について理解する。 ・買掛金勘定と買掛金元帳の関係および買掛金に関する基本仕訳について理解する。 ・商品代金の決済に用いられる約束手形の内容と，手形債権，手形債務の発生，消滅の関係を明確に理解する。 ・手形の振り出し，決済の記帳方法について習熟する。 ・受取手形記入帳と支払手形記入帳の記入方法を理解する。 ・売掛金，買掛金，受取手形，支払手形以外の債権，債務の諸勘定の意味を理解する。 ・その他の債権，債務に関する基本仕訳を理解する。 ・固定資産の意味と種類について理解する。 ・固定資産を取得したとき，不要になって売却したときのそれぞれの記帳方法について理解する。	考査	考査	考査 問題集 小テスト 小テスト 小テスト 小テスト

2学期	10	第16章 個人企業の資本の取引 第17章　販売費と一般管理費，税金の取引 第18章 決算整理 （その１） 第19章 ８桁精算表	・個人企業の資本の記帳方法について理解する。 ・引出金勘定を用いた場合の記帳方法について理解する。 ・所得税と住民税の記帳方法について理解する。 ・販売費及び一般管理費の意味と種類について理解する。 ・営業活動のために支払われた費用を，販売費及び一般管理費勘定で統括した場合の記帳方法について理解する。 ・個人企業に課せられる税金の概略を理解する。 ・個人企業に課せられる税金の記帳方法について理解する。 ・消費税の意味，その記帳方法について理解する。 ・決算整理の意味とその必要性を理解する。 ・3分法による商品売買に関する勘定の整理，貸し倒れの見積もり，減価償却の処理法，現金過不足の処理，当座借越勘定への振り替えを理解し，その記帳方法を習熟する。 ・棚卸表の意味や記入する内容について理解する。 ・8桁精算表の意味を理解する。 ・8桁精算表の作り方を理解し，その作成を習熟する。			小テスト 小テスト 小テスト
	11	第20章 会計決算 第21章 会計帳簿 第22章 伝票の利用 第23章 会計ソフトウェアの活用 第24章 特殊な手形の取引	・帳簿決算の意味とその必要性を理解する。 ・総勘定元帳の締め切りと，繰越試算表，損益計算書，貸借対照表の作成を習熟する。 ・会計帳簿の役割と種類を理解する。 ・分課制度と帳簿組織との関連について理解する。 ・証ひょう，伝票の意味とその役割を理解する。 ・3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解する。 ・取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解する。 ・会計ソフトウェアと伝票，証ひょうとの関わりを理解し，伝票，証ひょうから会計ソフトウェアに取引を入力する方法を習熟する。 ・手形の裏書譲渡の意味，その記帳方法を理解する。 ・手形の割引の意味，その記帳方法を理解する。 ・手形の裏書譲渡の意味，その記帳方法を理解する。 ・手形の割引の意味，その記帳方法を理解する。			小テスト 小テスト 小テスト 小テスト 小テスト
	11	期末考査		定期考査	定期考査	問題集 ノート
	12	第24章 特殊な手形の取引	・手形が不渡りになった場合の処理手続きと記帳方法を理解する。 ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味，その記帳方法を理解する。 ・手形の裏書譲渡，割引，書き換え，不渡りの意味，その記帳方法を理解する。			小テスト

3学期	1	課題考査 検定学習 第24章 特殊な手形の取引 第25章 有価証券の取引 第26章 本支店会計	 ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味，その記帳方法を理解する。 ・有価証券の意味と種類を理解する。 ・有価証券の取得，売却の記帳方法を理解する。 ・支店会計の独立の意味を理解する。 ・支店会計が独立している場合の本支店間の取引の意味とその記帳方法を理解する。 ・本支店の財務諸表の合併の意味と合併財務諸表を作成する技術を習熟する。	考査	考査	考査 問題集 小テスト 小テスト 小テスト 小テスト
	2	第26章 本支店会計 第28章 決算整理 （その２） 第29章 株式会社の取引と財務諸表	・本店集中計算制度の意味と支店相互間の取引の記帳方法を理解する。 ・費用，収益の繰り延べ，見越しの意味とそれぞれの記帳方法を習熟する。 ・有価証券の評価の記帳方法を習熟する。 ・減価償却の間接法による記帳方法，定率法による計算方法を習熟する。 ・郵便切手などの未使用分の記帳方法を習熟する。 ・費用，収益の繰り延べ，見越し，減価償却（定率法），有価証券の評価などを含めた8桁精算表および財務諸表の作成を習熟する。 ・株式会社の設立，株式の発行時に関する取引の記帳について理解する。 ・純利益の計上，剰余金の配当と処分の記帳について理解する。 ・株式会社に課せられる税金の記帳方法について理解する。 ・株式会社の財務諸表の作成を習熟する。			小テスト 小テスト 小テスト
	2	学年末考査		定期考査	定期考査	問題集 ノート
	3	第29章 株式会社の取引と財務諸表	復習			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
ロイロノート・問題集などを活用し、復習をしましょう。また、質問等は、メモをしましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	情報処理(情報システム科)	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		4	4	－	－	－

学習の目標	⑴企業において情報を適切に扱えるようにするための知識や技術を，実務に即して体系的・系統的に身に付ける。 ⑵情報を適切に扱うことで，さまざまな問題を発見し，解決していけるようにするための力を身に付ける。 ⑶情報に関する知識や技術を活用し，主体的かつ協働的に問題を解決し，企業活動を改善していこうとする態度を身に付ける。
使用教材	教科書：情報処理（東京法令出版） 副教材：情報処理検定試験　模擬問題集３級　２０２５（東京法令出版） 情報処理検定試験　模擬問題集２級　ビジネス情報編　２０２５（東京法令出版） ２０２５年度版　全商ビジネス文書実務検定試験問題集　３級（東京法令出版） ２０２５年度版　全商ビジネス文書実務検定試験問題集　２級（東京法令出版）

評価	評価法	定期考査、小テスト、実技問題、総合問題、課題考査、実技課題、レポート課題、振り返りシート等		
	評価観点の趣旨	①	知識・技術	ビジネスにおいて役立てることができる，情報を収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付けている。
		②	思考・判断・表現	情報を扱うための知識や技術を活用して，情報に関する課題を発見し，解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	組織の一員として自己の役割を認識し，情報に関する知識や技術を活用して，協働して課題を解決していこうとする態度を身に付けている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
１学期	4	第４章「ビジネス文書の作成」 第２節「文書作成ソフトウェアの特徴」 ①文書作成ソフトウェアの基本操作 ②文書作成ソフトウェアの編集機能	・ビジネス文書を作成することができるソフトウェアである文書作成ソフトウェアの特徴と基本操作について理解する。	中間考査	中間考査	実技課題
		第４章「ビジネス文書の作成」 第１節「文章の表現」 ①わかりやすい文章 ②文章構成の工夫 ③敬語表現の必要性	・伝えたい内容を簡潔に分かりやすく表現するとともに，適切に敬語を用いて表現する方法について理解する。 ・ビジネス文書の種類及び依頼状，挨拶状，礼状，起案書などの構成について学びます。	中間考査	中間考査	課題
		第３節「ジネス文書の種類と作成」 ①ビジネス文書の種類と基本的な構成 ②依頼書の作成 ③挨拶状の作成 ④礼状の作成 ⑤起案書（稟議書）の作成 ⑥報告書の作成 ⑦企画書の作成 ⑧リーフレットの作成	・文書作成ソフトウェアを活用して，表，グラフ，図形，静止画を効果的に用い，報告書，企画書，リーフレットなどを作成する方法について扱い，必要な情報を基にビジネス文書を作成する実習を行います。	中間考査	中間考査	実技課題
		第１章「企業活動と情報処理」 第１節「ビジネスと情報」 ①情報処理の重要性とその活用 ②情報の収集・処理・分析 ③情報処理の進歩と情報システムの活用 ④情報処理にかかわる職業	・企業においてコンピュータを活用することの重要性およびビジネスに関する情報を収集・処理・分析して表現し，活用することの重要性について理解する。 ・情報処理に関わる職業や仕事の概要，金融機関の預金や決済，交通機関の予約などに関する情報システムの概要について理解する。	中間考査	中間考査	課題

1学期	5	第２節「コミュニケーションと情報デザイン」 ①情報デザインの重要性 ②情報デザインの構成要素 ③色彩が持つ情報	・情報を分かりやすく伝達するために必要な情報デザインの重要性，文字，図形，音声などの特性，色彩，光など情報デザインの要素，色彩が心理や感情に及ぼす影響，伝えたい意図を的確に表現するための要素の構成と配置及び図解表現の効果と方法について理解する。	中間考査	中間考査	課題
		第３節「情報モラル」 ①情報モラル ②知的財産の保護と管理 ③個人情報の保護と管理第２章「コンピュータシステムと情報通信ネットワーク」	・情報技術の進歩や情報が社会で果たす役割と社会に及ぼす影響，情報に対する個人と企業の責任及び情報を取り扱う際に留意することについて理解する。 ・個人情報と知的財産の適切な取扱いと保護の重要性について扱い，法規及び企業における個人情報の漏洩や著作権の侵害などの具体的な事例と関連付けて分析し，考察する学習活動を行います。	期末考査	期末考査	課題
		第２章「情報通信ネットワークのしくみと構成」 第１節「コンピュータシステムの概要」 ①コンピュータの基本的な機能と五大装置 ②パソコンのハードウェア ③データの表現と処理のしくみ ④パソコンのソフトウェア ⑤ファイル管理	・コンピュータの基本的な機能と構成，コンピュータ内部におけるデータの表現及びコンピュータ内部でデータが処理される仕組みについて理解する。 ・ビジネスで身近に活用されるハードウェアとソフトウェアの種類と機能及びオペレーティングシステムのファイル管理の機能を活用する方法について理解する。	期末考査	期末考査	課題
		第２節「情報通信ネットワークのしくみと構成」 ①情報通信ネットワークのしくみと構成 ②LANの種類と特徴 ③インターネット ④情報システムで提供されるサービス	・基本的な情報通信ネットワークを構成するハードウェアとソフトウェア，LAN の基本的な仕組み，クライアントサーバシステムなど LAN の構成，インターネットの基本的な仕組み，有線と無線によるインターネットへの接続形態及び通信プロトコルの役割について理解する。 ・情報通信ネットワークを経由して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴，情報を蓄積・管理し提供する方法などについて理解する。	期末考査	期末考査	課題
	6	第３節「情報通信ネットワークの活用 ①情報の検索と収集 ②ブラウザソフトの活用 ③電子メールの活用 ④情報の信頼性と信憑性	・ウェブページを活用してビジネスに関する情報を検索・収集する方法，電子メールを活用してビジネスに関する情報を受信・発信する方法及び電子メールへのファイルの添付とファイルの圧縮・解凍を行う方法について理解する。 ・受信者の立場に立って，適切な表現を用いて電子メールやソーシャルメディアで情報を発信することの重要性について理解する。 ・情報の信頼性と価値を見極める方法について扱い，具体的な事例と関連付けて分析し，考察する学習活動を行います。	期末考査	期末考査	課題
		第４節「情報セキュリティの確保」 ①情報セキュリティとその重要性 ②情報セキュリティを脅かすリスク ③情報セキュリティを確保する方法	・情報セキュリティを確保することの重要性について扱い，個人情報の漏洩，不正アクセスやマルウェアへの感染などによる被害の具体的な事例と関連付けて分析し，考察する学習活動を行います。 ・マルウェアへの感染などを予防するソフトウェアの活用，利用者の認証，情報の暗号化など情報セキュリティを確保する基礎的な方法及び不正アクセスの禁止やコンピュータを使用した犯罪の防止に関する法規の概要について理解する。	期末考査	期末考査	課題
		第３章「情報の集計と分析」 第１節「ビジネスと統計」 ①情報を分析することの重要性 ②統計の基礎 ③情報の傾向を把握する方法 ④相関関係を把握する方法 ⑤パレート図を用いた分析の方法 ⑥時系列分析の方法	・統計的手法などを用いてビジネスに関する情報を分析することの重要性及び全数調査と標本調査の意義と特徴について理解する。 ・平均値や中央値などの代表値，分散，標準偏差，度数分布を用いた情報の傾向を把握する方法，散布図や相関係数を用いた相関関係を把握する方法，パレート図を用いた分析の方法及び時系列分析の方法について，ビジネスを想定した題材を用いて理解する。	期末考査	期末考査	実技課題
		第２節「表・グラフの作成と表計算ソフトウェアの特徴」 ①表とグラフの基礎 ②―１　表計算ソフトウェアの基礎 ②―２　表計算ソフトウェアのグラフ作成	・情報の傾向，特徴などを読み取り，適切な表の形態とグラフの種類・形態を検討し，表やグラフを用いて伝えたいことを表現する方法について理解する。	期末考査	期末考査	実技課題
	7	総合演習問題	全商情報処理検定３級レベルの実技問題	実技課題	実技課題	実技課題

2学期	8	課題考査	全商情報処理検定３級レベルの筆記・実技	課題考査	課題考査	課題考査
	9	第３節「情報の分析」 ①―１　関数を用いた情報の分析 ①－２　関数を用いた情報の分析 ①－３　関数を用いた情報の分析 ①－４　関数を用いた情報の分析 ①－５　数を用いた情報の分析 ①－６　関数を用いた情報の分析 ②整列，検索，抽出機能を用いた情報の分析	・表計算ソフトウェアの日付，数学，統計，検索，論理，データベースなどの基本的な関数及び整列，検索，抽出などの基本的な機能を用いて情報を分析し，目的に応じた適切な表とグラフを作成する方法について扱い，ビジネスを想定した題材を用いた実習を行います。	実技テスト	実技テスト	実技課題
	10	第３節「情報の分析」 ①―１　関数を用いた情報の分析 ①－２　関数を用いた情報の分析 ①－３　関数を用いた情報の分析 ①－４　関数を用いた情報の分析 ①－５　数を用いた情報の分析 ①－６　関数を用いた情報の分析 ②整列，検索，抽出機能を用いた情報の分析	・表計算ソフトウェアの日付，数学，統計，検索，論理，データベースなどの基本的な関数及び整列，検索，抽出などの基本的な機能を用いて情報を分析し，目的に応じた適切な表とグラフを作成する方法について扱い，ビジネスを想定した題材を用いた実習を行います。	実技テスト	実技テスト	実技課題
	11	第４節「問題の発見と解決の方法」 ①問題解決のプロセス ②問題の発見から解決まで ③アルゴリズムとプログラミング	・事象をモデル化し，シミュレーションを行う基礎的な技法及びアルゴリズムを考案し，プログラムとして表現する基礎的な技法を用いた問題の発見と解決について，ビジネスを想定した題材を用いて理解する。 ・ロジックツリー，MECE，デシジョンテーブル，ガントチャート，SWOT 分析，PPM 分析などを活用した情報の整理及び PDCA サイクルによる企業活動の改善について理解する。	期末考査	期末考査	課題
	12	総合演習問題	全商情報処理検定ビジネス情報２級レベルの実技試験・筆記試験	実技課題	実技課題	実技課題
3学期	1	総合演習問題	全商情報処理検定ビジネス情報２級レベルの実技試験・筆記試験	模擬試験	模擬試験	実技課題
	2	第３節「情報の分析」 ①―１　関数を用いた情報の分析 ①－２　関数を用いた情報の分析 ①－３　関数を用いた情報の分析 ①－４　関数を用いた情報の分析 ①－５　数を用いた情報の分析 ①－６　関数を用いた情報の分析 ②整列，検索，抽出機能を用いた情報の分析 第５章「プレゼンテーション」 第１節「プレゼンテーションの技法」 ①プレゼンテーションとは ②話し方の技術 ③機器の活用 ④プレゼンテーションの準備 第２節「プレゼンテーションソフトウェアの基本操作と活用」 ①プレゼンテーションソフトウェアの活用 ②提示資料の作成 ③効果的なスライドの設定 ④スライドの実行とシナリオの作成	・表計算ソフトウェアの日付，数学，統計，検索，論理，データベースなどの基本的な関数及び整列，検索，抽出などの基本的な機能を用いて情報を分析し，目的に応じた適切な表とグラフを作成する方法について扱い，ビジネスを想定した題材を用いた実習を行います。 ・趣旨を正確，簡潔に伝える話の構成，聞きやすい発声や話す速度，聞き手を引き付ける表情と姿勢，リハーサルの進め方などプレゼンテーションを行うための技法について理解する。 ・プレゼンテーションにおける図形，静止画，動画，アニメーション，音声の効果的な活用について理解する。 ・報告，解説，提案など目的によるプレゼンテーションの方法の違い，商談，講演，コンペティションなど形態によるプレゼンテーションの方法の違いについて学びます。 ・対象と規模によるプレゼンテーションの方法の違いについて学びます。 ・プレゼンテーションソフトウェアを活用して効果的にプレゼンテーションを行う方法について学び，実習を行います。	実技課題 実技課題 実技課題	実技課題 実技課題 実技課題	実技課題 実技課題 実技課題
	3	プレゼンテーション				発表

担当者からのメッセージ（学習方法など）
企業において情報を適切に扱うための必要な資質・能力を培うための基本的な科目です。人に伝えるための１つのツールとしてパソコンの基本的な操作方法から応用的な操作方法を身につけましょう。

令和７年度

学年	１年生	単位数				
		情報システム科		総合ビジネス科		
科目名	情報処理(総合ビジネス科)	開発	利用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類
		－	－	3	3	3
学習の目標	商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を身に付ける。					
使用教材	教科書：最新情報処理ＡｄｖａｎｃｅｄＣｏｍｐｕｔｉｎｇ（実教出版） 副教材：全商情報処理検定　模擬試験問題集　３級（実教出版） 全商情報処理検定　模擬試験問題集　２級（実教出版）					

評価				
	評価法	定期考査、小テスト、課題考査、振り返りシート、課題作成等		
	評価観点の趣旨	①	知識・技術	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。
		②	思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。
		③	主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び，企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評点（１～５の５段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（Ａ、Ｂ、Ｃの３段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。			

期	月	学習項目・単元	学習内容	評価方法 ①	評価方法 ②	評価方法 ③
1学期	4	１章　企業活動と情報処理 １節　情報処理の重要性	身近な事例を基に情報とは何かを考える学習活動により，情報の意義と役割を理解する。 社会で利用されている情報システムの例や，ビジネスにおける情報活用の実際を学ぶことにより，コンピュータを利用した情報の処理や活用の重要性を理解する。 情報処理に関わる職業や仕事を学ぶことにより，ICT人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解する。			振り返りシート
		２節　情報モラルと法規	身近な事例から情報の価値を考える学習活動により，情報を正しく取り扱うことの大切さに気づき，そのために必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する。 情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と，その概要を理解する。			考察 事例
		３節　コミュニケーションと情報デザイン	企業における適切な情報処理について理解するとともに，関連する技術を身に付ける。			
	5	２章　コンピュータシステムと情報通信ネットワーク １節　コンピュータシステムの概要	コンピュータの基本的な機能と構成を理解し，ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解するとともに，それを活用する基本的な技術を身に付ける。			振り返りシート
		２節　情報通信ネットワークのしくみと構成 ３節　インターネットの活用 ４節　情報セキュリティの確保	情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法について理解する。 電子メールの利用方法について理解する。 情報化社会に参画するために個人が身につけるべきセキュリティ管理の方法について理解する。			
		中間考査		定期考査	定期考査	

1学期	6	4章　ビジネス文書の作成 １節　ビジネス文書と表現 ２節　基本文書の作成 １．ワープロの操作と入力方法 ２．ワープロを利用した文書の作成	文書情報がコミュニケーションの重要な手段として，ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する。 ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ，文書の構成，構成要素の配置，文書作成の要領について理解する。			振り返りシート
	7	３．社外文書 ４．社内文書	基本的な社内文書や社外文書を取り上げて，作成に関する知識と技術について理解する。			課題作成
		期末考査		定期考査	定期考査	
2学期	9	5章　プレゼンテーション １節　プレゼンテーションの技法 ２節　ビジネスにおけるプレゼンテーション	目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いにつて理解するとともに，プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して，資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深める。	課題考査	課題考査	課題考査 振り返りシート
	10	3章　情報の集計と分析 １節　ビジネスと統計	情報の重要性を理解し，情報を分析して，傾向を把握する能力を身に付ける。	小テスト	小テスト	振り返りシート 課題作成
	11	２節　関数を利用した表の作成 １　データの入力と計算式の設定 ２　基本的な関数（１）	基本的な操作や計算式及び関数について理解し，目的に応じて適切な表を作成する技術を身に付ける。	小テスト	小テスト	振り返りシート 課題作成
	12	３節　グラフの作成	グラフの種類や構成要素，特色を理解し，表計算ソフトウェアを利用して目的に合ったグラフ作成方法について理解する。			振り返りシート 課題作成
		期末考査		定期考査	定期考査	
3学期	1	総合演習	目的に応じた、基本的な表作成とグラフ作成を総合的に理解する。	課題考査	課題考査	課題考査 振り返りシート
	2	２節　関数を利用した表の作成 ３　基本的な関数（２） ５節　問題解決の発見と解決の方法	基本的な操作や計算式及び関数について理解し，目的に応じて適切な表を作成する技術を身に付ける。 事象をモデル化し，シミュレーションを行う基礎的な技法及びアルゴリズムを考案し，プログラムとして表現する基礎的な技法を用いた問題の発見と解決について考察する。			振り返りシート 課題作成
	3	総合演習	目的に応じた、基本的な表作成とグラフ作成を総合的に理解する。			振り返りシート 課題作成
		学年末考査		定期考査	定期考査	

担当者からのメッセージ（学習方法など）
企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を培うための基本的な科目です。人に伝えるための１つのツールとしてパソコンの基本的な操作方法を身につけましょう。